

⑤ 予測結果

施設稼働に伴う騒音影響の予測結果は、表 3.2-36 及び図 3.2-18 に示すとおりである。

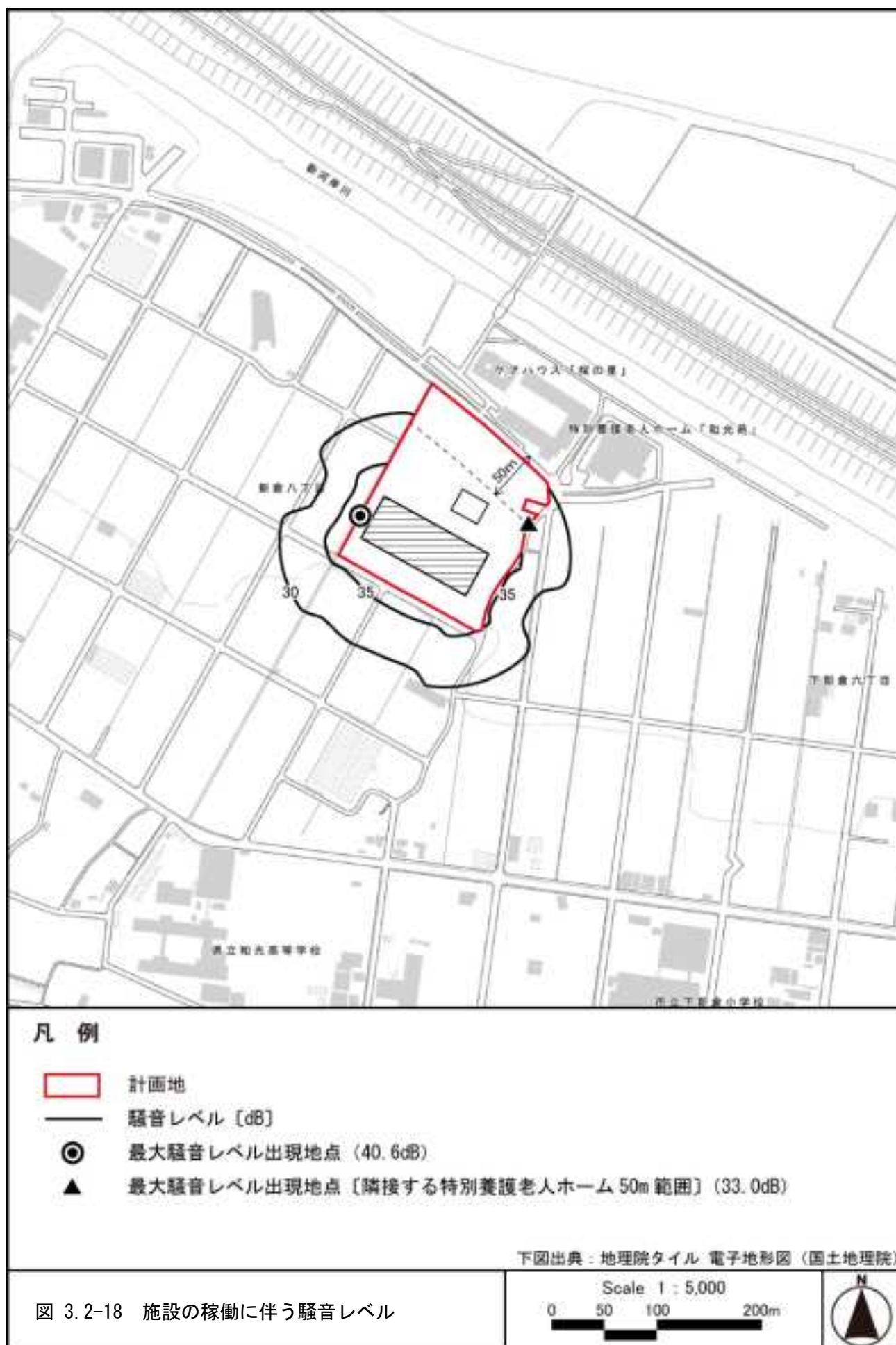
騒音レベルが最大となる敷地境界上の地点は、計画地西側敷地境界付近にあり、騒音レベルは 40.6dB である。また、隣接する特別養護老人ホームから 50m の範囲内における騒音レベルは、最大で 33.0dB である。

表 3.2-36 予測結果（施設稼働に伴う騒音影響）

時間区分	騒音レベル (dB)	敷地境界上で騒音レベルが 最大となる地点
朝・昼間・夕・夜間	40.6	計画地西側敷地境界付近
	33.0	隣接する特別養護老人ホーム50m範囲

注) 時間区分は以下のとおり

朝：6 時～8 時、昼間：8 時～19 時、夕：19 時～22 時、夜間：22 時～翌 6 時



(2) 施設の稼働に伴う低周波音の影響

① 予測項目

予測項目は、施設の稼働に伴い発生する低周波音とした。

② 予測地点

予測地点は、計画地敷地境界上とした。

③ 予測対象時期

予測対象時期は、施設の供用が通常の状態に達した時点（令和 10 年度（2028 年度））とした。

④ 予測方法

施設の稼働に伴う低周波音は、事業計画に基づき図 3.2-19 示す流れで予測を行った。

予測は、現地調査結果及び施設計画（設備機器の配置位置等）をもとに定性的に行った。

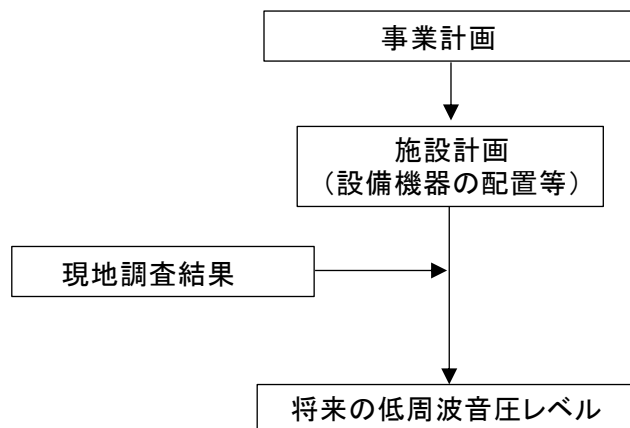


図 3.2-19 予測手順（施設の稼働に伴う低周波音の影響）

⑤ 予測結果

現地調査の結果では、前掲表 3.2-11 に示すとおり現有施設の敷地境界（環境 No.3）における G 特性音圧レベルは 72～79dB であり、感覚閾値である 100dB（G 特性音圧レベル）を下回っていた。新施設では、低周波音の発生源である誘引通風機等の設備機器を敷地境界から隔離して設置する計画である。また、施設自体を敷地の南寄りに配置することで、直近の保全対象施設である特別養護老人ホームから 100m 以上距離を確保するため、低周波音圧レベルは現有施設と同程度（72～79dB）以下になると予測される。

表 3.2-37 低周波音の予測結果

単位：dB

予測地点	G特性音圧レベル(L _{G5})		
	G特性1～80Hz		
	範囲	最大となる時刻	感覚閾値※
敷地境界	72～79以下	6時	100

※) 閾値の出典は「低周波音の測定方法に関するマニュアル」（平成 12 年 10 月、環境庁）による。

(3) 廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の影響

① 予測項目

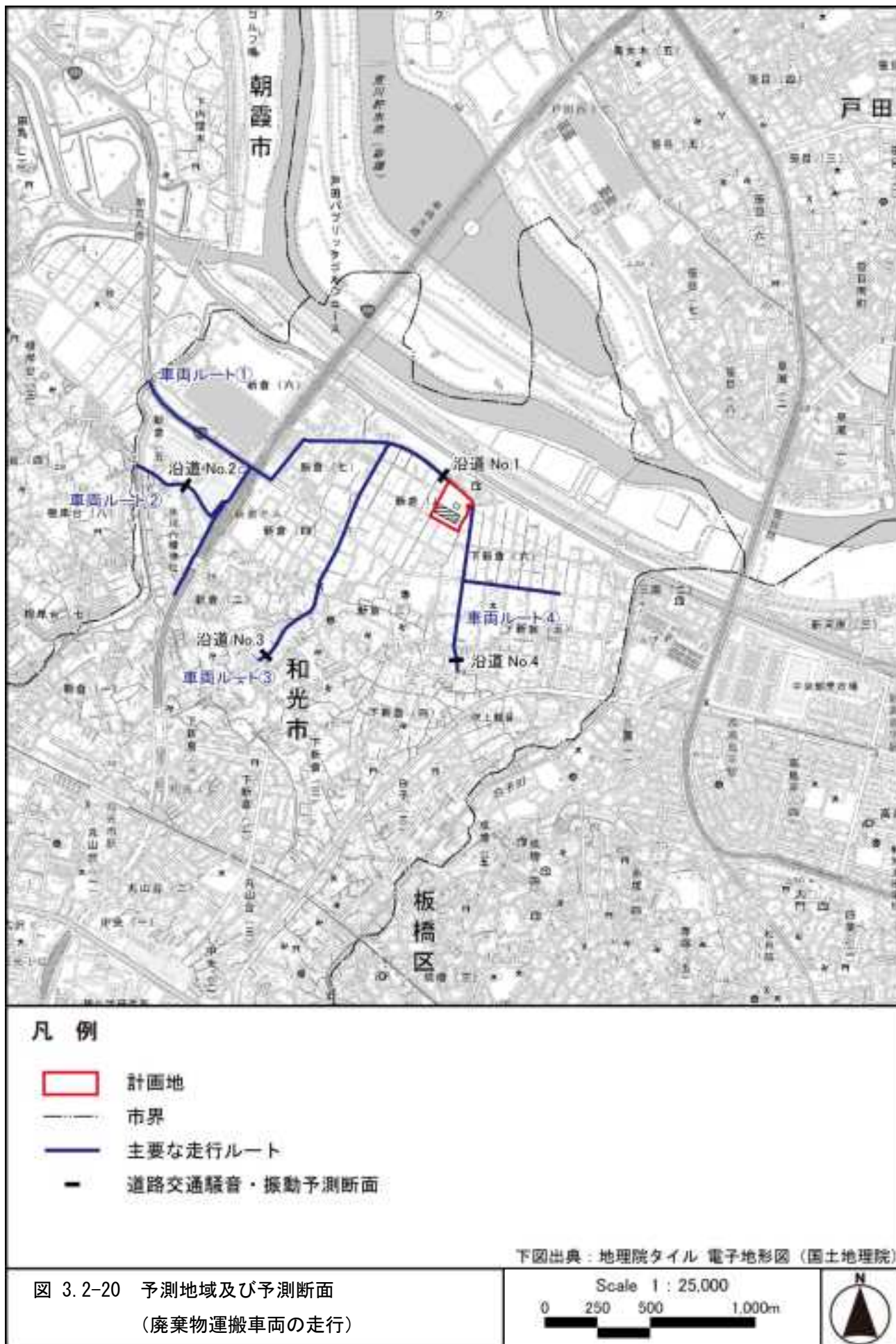
予測項目は、廃棄物運搬車両等の走行に伴う道路交通騒音とした。

② 予測地点

予測地点は図 3.2-20 に示すとおり、廃棄物運搬車両等の主要な走行ルート of 道路端 4 地点とした。

③ 予測対象時期

予測対象時期は、施設の供用が通常の状態に達した時点（令和 10 年度（2028 年度））とした。



④ 予測方法

ア. 予測手順

廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の影響は、図 3.2-21 に示す予測手順に従って予測を行った。

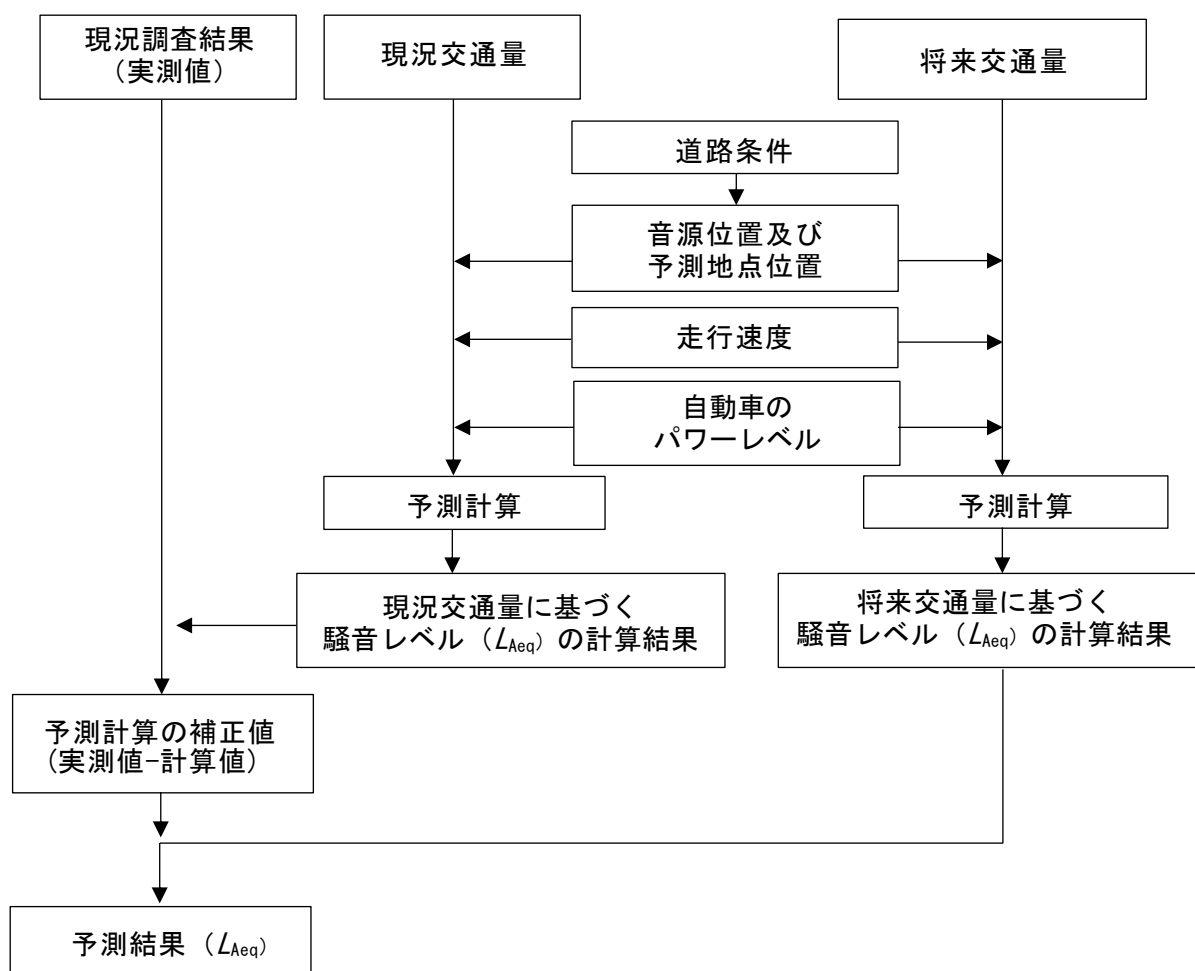


図 3.2-21 予測手順（廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の影響）

イ. 予測手法

7) 予測式

予測式は、表 3.2-38 に示すとおり、(社) 日本音響学会による「道路交通騒音の予測モデル (ASJ RTN-Model 2018)」を用いた。

表 3.2-38 車両の走行に伴う騒音影響の予測式

区分	予測式
予測式	$L_{Aeq} = 10 \cdot \log_{10} \left(10^{L_{AE}/10} \cdot \frac{N}{3600} \right)$ $L_{AE} = 10 \cdot \log_{10} \left(\frac{1}{T_0} \sum_i 10^{L_{PAi}/10} \cdot \Delta t_i \right)$ $L_{PA} = L_{WA} - 8 - 20 \cdot \log_{10} r + \Delta L_{dif} + \Delta L_{grnd} + \Delta L_{air}$
記号説明	<p> L_{Aeq} : 等価騒音レベル (dB) L_{AE} : 単発騒音暴露レベル (dB) N : 時間交通量 (台/時) $L_{PA, i}$: i 番目の音源点から予測地点に到達する音の音圧レベル (dB) Δt_i : $\Delta D_i / V$ ΔD_i : 離散的に設定した音源点の間隔 (m) V : 走行速度 (m/s) T_0 : 基準時間 (1s) L_{PA} : A 特性音圧レベル (dB) L_{WA} : 自動車走行騒音の A 特性パワーレベル (dB) r : 音源点から予測地点までの距離 (m) ΔL_{dif} : 回折効果による補正量 (dB) ΔL_{grnd} : 地表面効果による補正量 (dB) ΔL_{air} : 空気の音響吸収による補正量 (dB) </p>

イ) 自動車のパワーレベル

自動車走行騒音のパワーレベル L_{WA} の算出は、「道路交通騒音の予測モデル (ASJ RTN-Model 2018)」に基づいて、平均走行速度 V (km/h) 及び車種構成により次式で求めた。

自動車走行騒音のパワーレベルは、交差点・信号での加速・減速を考慮し、非定常走行部における式を用いた。

大型車類 : $L_{WA} = 88.8 + 10 \log_{10} V$

小型車類 : $L_{WA} = 82.3 + 10 \log_{10} V$

ウ. 予測条件

7) 現況交通量

現況交通量は、現有施設に出入りする廃棄物運搬車両の運行帯を含む昼間（6 時～22 時）の時間帯の台数を設定した。設定した現況交通量は、表 3.2-39 に示すとおりである。時間別現況交通量については、前掲の表 3.2-22～表 3.2-25 に示すとおりである。

表 3.2-39 現況交通量

単位：台/16 時間

予測地点 交通量		沿道No. 1		沿道No. 2		沿道No. 3		沿道No. 4	
		計画地 方向	朝霞市 方向	計画地 方向	朝霞市 方向	計画地 方向	和光市駅 方向	計画地 方向	昭和通り 方向
一般車両台数	大型	130	148	205	214	279	256	637	440
	小型	501	326	3,219	3,224	2,304	1,994	989	1,075
廃棄物運搬 車両台数	大型	33	28	1	4	31	41	109	84
合計	大型	163	176	206	218	310	297	746	524
	小型	501	326	3,219	3,224	2,304	1,994	989	1,075

イ) 将来交通量

将来交通量は、大気質と同様に設定を行い、環境基準の時間区分である 6 時～22 時までの台数を設定した。設定した将来交通量は、表 3.2-40 に示すとおりである。

また、時間別将来交通量は、表 3.2-41～表 3.2-44 に示すとおりである。

表 3.2-40 将来交通量

単位：台/16 時間

予測地点 交通量		沿道No. 1		沿道No. 2		沿道No. 3		沿道No. 4	
		計画地 方向	朝霞市 方向	計画地 方向	朝霞市 方向	計画地 方向	和光市駅 方向	計画地 方向	昭和通り 方向
一般車両台数	大型	130	148	205	214	279	256	637	440
	小型	652	477	3,256	3,261	2,341	2,031	1,013	1,099
廃棄物運搬 車両台数	大型	132	127	31	34	61	71	131	106
合計	大型	262	275	236	248	340	327	768	546
	小型	652	477	3,256	3,261	2,341	2,031	1,013	1,099

表 3.2-41 時間別将来交通量（沿道 No. 1）

方向		将来交通量															
		1:計画地方向 (騒音測定反対側)					2:朝霞市方向 (騒音測定側)					断面合計					
		小型車	大型車	廃棄物 運搬 車両	合計	自動 二輪	小型車	大型車	廃棄物 運搬 車両	合計	自動 二輪	小型車	大型車	廃棄物 運搬 車両	合計	大型車 混入率 (%)	自動 二輪
時間帯 種別	12:00～13:00	34	8	13	55	2	28	6	13	47	0	62	14	26	102	39.2%	2
	13:00～14:00	43	12	14	69	1	43	7	12	62	2	86	19	26	131	34.4%	3
	14:00～15:00	53	11	16	80	1	50	10	13	73	0	103	21	29	153	32.7%	1
	15:00～16:00	59	6	10	75	3	46	21	11	78	1	105	27	21	153	31.4%	4
	16:00～17:00	31	14	2	47	2	36	22	2	60	7	67	36	4	107	37.4%	9
	17:00～18:00	35	11	0	46	4	31	12	3	46	11	66	23	3	92	28.3%	15
	18:00～19:00	22	4	0	26	0	26	3	0	29	0	48	7	0	55	12.7%	0
	19:00～20:00	16	6	0	22	4	5	3	0	8	3	21	9	0	30	30.0%	7
	20:00～21:00	7	5	0	12	0	6	3	0	9	1	13	8	0	21	38.1%	1
	21:00～22:00	2	1	0	3	0	2	3	0	5	0	4	4	0	8	50.0%	0
	22:00～23:00	3	1	0	4	0	0	0	0	0	0	3	1	0	4	25.0%	0
	23:00～24:00	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.0%	0
	0:00～1:00	2	0	0	2	0	3	0	0	3	0	5	0	0	5	0.0%	0
	1:00～2:00	1	2	0	3	1	2	0	0	2	0	3	2	0	5	40.0%	1
	2:00～3:00	1	1	0	2	0	1	1	0	2	0	2	2	0	4	50.0%	0
	3:00～4:00	2	0	0	2	0	6	0	0	6	0	8	0	0	8	0.0%	0
	4:00～5:00	2	0	0	2	0	0	1	0	1	0	2	1	0	3	33.3%	0
	5:00～6:00	12	2	0	14	2	1	0	0	1	1	13	2	0	15	13.3%	3
	6:00～7:00	40	7	0	47	6	16	11	0	27	2	56	18	0	74	24.3%	8
	7:00～8:00	98	15	1	114	15	19	9	2	30	6	117	24	3	144	18.8%	21
	8:00～9:00	46	5	5	56	0	29	8	4	41	0	75	13	9	97	22.7%	0
	9:00～10:00	49	12	22	83	1	29	10	22	61	0	78	22	44	144	45.8%	1
	10:00～11:00	58	4	24	86	0	61	11	23	95	2	119	15	47	181	34.3%	2
	11:00～12:00	59	9	25	93	3	50	9	22	81	0	109	18	47	174	37.4%	3
	昼6-22時	652	130	132	914	42	477	148	127	752	35	1,129	278	259	1,666	32.2%	77
	夜22-6時	24	6	0	30	3	13	2	0	15	1	37	8	0	45	17.8%	4
	24時間合計	676	136	132	944	45	490	150	127	767	36	1,166	286	259	1,711	31.9%	81

備考) 本事業に係る廃棄物運搬車両の夜間における運行は想定していない。上表の夜間における廃棄物運搬車両は通過交通である。

表 3.2-42 時間別将来交通量（沿道 No. 2）

方向		将来交通量															
		1:計画地方向 (騒音測定側)					2:朝霞市方向 (騒音測定反対側)					断面合計					
		小型車	大型車	廃棄物 運搬 車両	合計	自動 二輪	小型車	大型車	廃棄物 運搬 車両	合計	自動 二輪	小型車	大型車	廃棄物 運搬 車両	合計	大型車 混入率 (%)	自動 二輪
時間帯 種別	12:00～13:00	130	6	2	138	12	161	17	3	181	15	291	23	5	319	8.8%	27
	13:00～14:00	149	15	4	168	8	165	19	4	188	11	314	34	8	356	11.8%	19
	14:00～15:00	143	16	6	165	11	176	24	5	205	14	319	40	11	370	13.8%	25
	15:00～16:00	138	15	2	155	7	232	18	2	252	15	370	33	4	407	9.1%	22
	16:00～17:00	155	17	0	172	13	269	16	0	285	20	424	33	0	457	7.2%	33
	17:00～18:00	161	7	0	168	14	411	19	0	430	62	572	26	0	598	4.3%	76
	18:00～19:00	151	4	0	155	20	415	4	0	419	59	566	8	0	574	1.4%	79
	19:00～20:00	116	1	0	117	8	315	5	0	320	35	431	6	0	437	1.4%	43
	20:00～21:00	52	6	0	58	13	130	1	0	131	24	182	7	0	189	3.7%	37
	21:00～22:00	39	0	0	39	9	79	1	0	80	13	118	1	0	119	0.8%	22
	22:00～23:00	36	2	0	38	3	35	1	0	36	7	71	3	0	74	4.1%	10
	23:00～24:00	20	2	0	22	6	17	1	0	18	4	37	3	0	40	7.5%	10
	0:00～1:00	4	2	0	6	0	19	0	0	19	1	23	2	0	25	8.0%	1
	1:00～2:00	11	0	0	11	2	11	1	0	12	4	22	1	0	23	4.3%	6
	2:00～3:00	12	0	0	12	3	6	3	0	9	4	18	3	0	21	14.3%	7
	3:00～4:00	12	0	0	12	3	4	0	0	4	5	16	0	0	16	0.0%	8
	4:00～5:00	40	6	0	46	6	22	0	0	22	3	62	6	0	68	8.8%	9
	5:00～6:00	210	13	0	223	15	30	0	0	30	4	240	13	0	253	5.1%	19
	6:00～7:00	492	23	0	515	43	99	1	0	100	14	591	24	0	615	3.9%	57
	7:00～8:00	511	33	0	544	68	182	7	0	189	22	693	40	0	733	5.5%	90
	8:00～9:00	439	12	1	452	36	182	13	2	197	18	621	25	3	649	4.3%	54
	9:00～10:00	257	28	5	290	14	128	22	5	155	13	385	50	10	445	13.5%	27
	10:00～11:00	184	11	5	200	9	153	26	6	185	2	337	37	11	385	12.5%	11
	11:00～12:00	139	11	6	156	8	164	21	7	192	9	303	32	13	348	12.9%	17
	昼6-22時	3,256	205	31	3,492	293	3,261	214	34	3,509	346	6,517	419	65	7,001	6.9%	639
	夜22-6時	345	25	0	370	38	144	6	0	150	32	489	31	0	520	6.0%	70
	24時間合計	3,601	230	31	3,862	331	3,405	220	34	3,659	378	7,006	450	65	7,521	6.8%	709

備考) 本事業に係る廃棄物運搬車両の夜間における運行は想定していない。上表の夜間における廃棄物運搬車両は通過交通である。

表 3.2-43 時間別将来交通量（沿道 No. 3）

方向 時間帯 種別	将来交通量														
	1:計画地方向 (騒音測定反対側)					2:和光市駅方向 (騒音測定側)					断面合計				
	小型車	大型車	廃棄物 運搬 車両	合計	自動 二輪	小型車	大型車	廃棄物 運搬 車両	合計	自動 二輪	小型車	大型車	廃棄物 運搬 車両	合計	大型車 混入率 (%)
12:00～13:00	138	18	3	159	10	141	14	5	160	17	279	32	8	319	12.5%
13:00～14:00	148	27	7	182	12	159	18	10	187	9	307	45	17	369	16.8%
14:00～15:00	158	25	11	194	10	129	21	6	156	5	287	46	17	350	18.0%
15:00～16:00	165	28	7	200	6	126	26	6	158	13	291	54	13	358	18.7%
16:00～17:00	132	24	0	156	7	179	16	1	196	16	311	40	1	352	11.6%
17:00～18:00	124	8	0	132	16	208	12	0	220	19	332	20	0	352	5.7%
18:00～19:00	122	6	0	128	7	168	10	0	178	17	290	16	0	306	5.2%
19:00～20:00	118	9	0	127	16	122	8	1	131	12	240	17	1	258	7.0%
20:00～21:00	70	7	0	77	4	54	5	0	59	4	124	12	0	136	8.8%
21:00～22:00	40	8	0	48	4	55	9	0	64	1	95	17	0	112	15.2%
22:00～23:00	34	4	0	38	1	46	3	0	49	1	80	7	0	87	8.0%
23:00～24:00	18	0	0	18	7	15	1	0	16	0	33	1	0	34	2.9%
0:00～1:00	15	1	0	16	1	9	1	1	11	0	24	2	1	27	11.1%
1:00～2:00	13	1	0	14	3	9	9	0	18	2	22	10	0	32	31.3%
2:00～3:00	8	3	0	11	8	2	0	0	2	0	10	3	0	13	23.1%
3:00～4:00	15	1	1	17	4	6	6	0	12	4	21	7	1	29	27.6%
4:00～5:00	29	4	0	33	3	15	8	0	23	2	44	12	0	56	21.4%
5:00～6:00	73	1	1	75	8	25	9	0	34	8	98	10	1	109	10.1%
6:00～7:00	235	8	1	244	12	66	21	2	89	8	301	29	3	333	9.6%
7:00～8:00	281	26	2	309	34	107	23	0	130	12	388	49	2	439	11.6%
8:00～9:00	190	27	2	219	12	108	20	6	134	12	298	47	8	353	15.6%
9:00～10:00	150	25	8	183	4	93	13	10	116	4	243	38	18	299	18.7%
10:00～11:00	151	23	9	183	6	163	24	12	199	8	314	47	21	382	17.8%
11:00～12:00	119	10	11	140	5	153	16	12	181	6	272	26	23	321	15.3%
昼6-22時	2,341	279	61	2,681	165	2,031	256	71	2,358	163	4,372	535	132	5,039	13.2%
夜22-6時	205	15	2	222	35	127	37	1	165	17	332	52	3	387	14.2%
24時間合計	2,546	294	63	2,903	200	2,158	293	72	2,523	180	4,704	587	135	5,426	13.3%

備考）本事業に係る廃棄物運搬車両の夜間における運行は想定していない。上表の夜間における廃棄物運搬車両は通過交通である。

表 3.2-44 時間別将来交通量（沿道 No. 4）

方向 時間帯 種別	将来交通量														
	1:計画地方向 (騒音測定側)					2:昭和通り方向 (騒音測定反対側)					断面合計				
	小型車	大型車	廃棄物 運搬 車両	合計	自動 二輪	小型車	大型車	廃棄物 運搬 車両	合計	自動 二輪	小型車	大型車	廃棄物 運搬 車両	合計	大型車 混入率 (%)
12:00～13:00	60	57	8	125	2	59	40	4	103	6	119	97	12	228	47.8%
13:00～14:00	56	67	12	135	3	73	16	25	114	4	129	83	37	249	48.2%
14:00～15:00	72	78	14	164	4	79	45	25	149	4	151	123	39	313	51.8%
15:00～16:00	65	64	3	132	5	79	24	2	105	9	144	88	5	237	39.2%
16:00～17:00	54	43	11	108	2	85	14	0	99	15	139	57	11	207	32.9%
17:00～18:00	64	40	4	108	7	105	18	1	124	14	169	58	5	232	27.2%
18:00～19:00	49	28	0	77	2	77	17	0	94	10	126	45	0	171	26.3%
19:00～20:00	38	20	0	58	5	71	16	0	87	2	109	36	0	145	24.8%
20:00～21:00	29	24	0	53	1	46	16	4	66	6	75	40	4	119	37.0%
21:00～22:00	17	16	2	35	4	29	14	0	43	3	46	30	2	78	41.0%
22:00～23:00	11	23	1	35	2	11	12	0	23	2	22	35	1	58	62.1%
23:00～24:00	12	13	1	26	0	13	20	1	34	0	25	33	2	60	58.3%
0:00～1:00	10	24	0	34	1	7	10	7	24	3	17	34	7	58	70.7%
1:00～2:00	2	29	0	31	1	4	14	0	18	1	6	43	0	49	87.8%
2:00～3:00	5	17	0	22	1	4	24	0	28	1	9	41	0	50	82.0%
3:00～4:00	5	19	0	24	2	2	15	0	17	1	7	34	0	41	82.9%
4:00～5:00	20	12	0	32	5	9	19	0	28	2	29	31	0	60	51.7%
5:00～6:00	27	10	0	37	7	13	24	0	37	2	40	34	0	74	45.9%
6:00～7:00	98	12	1	111	10	36	33	12	81	3	134	45	13	192	30.2%
7:00～8:00	86	19	2	107	17	60	27	2	89	3	146	46	4	196	25.5%
8:00～9:00	107	19	7	133	10	73	38	6	117	11	180	57	13	250	28.0%
9:00～10:00	59	58	9	126	4	66	26	5	97	6	125	84	14	223	43.9%
10:00～11:00	81	43	36	160	2	86	51	12	149	1	167	94	48	309	46.0%
11:00～12:00	78	49	22	149	4	75	45	8	128	4	153	94	30	277	44.8%
昼6-22時	1,013	637	131	1,781	82	1,099	440	106	1,645	101	2,112	1,077	237	3,426	38.4%
夜22-6時	92	147	2	241	19	63	138	8	209	12	155	285	10	450	65.6%
24時間合計	1,105	784	133	2,022	101	1,162	578	114	1,854	113	2,267	1,362	247	3,876	41.5%

備考）本事業に係る廃棄物運搬車両の夜間における運行は想定していない。上表の夜間における廃棄物運搬車両は通過交通である。

ウ) 道路条件

予測地点の道路断面図は、図 3.2-22 に示すとおりである。

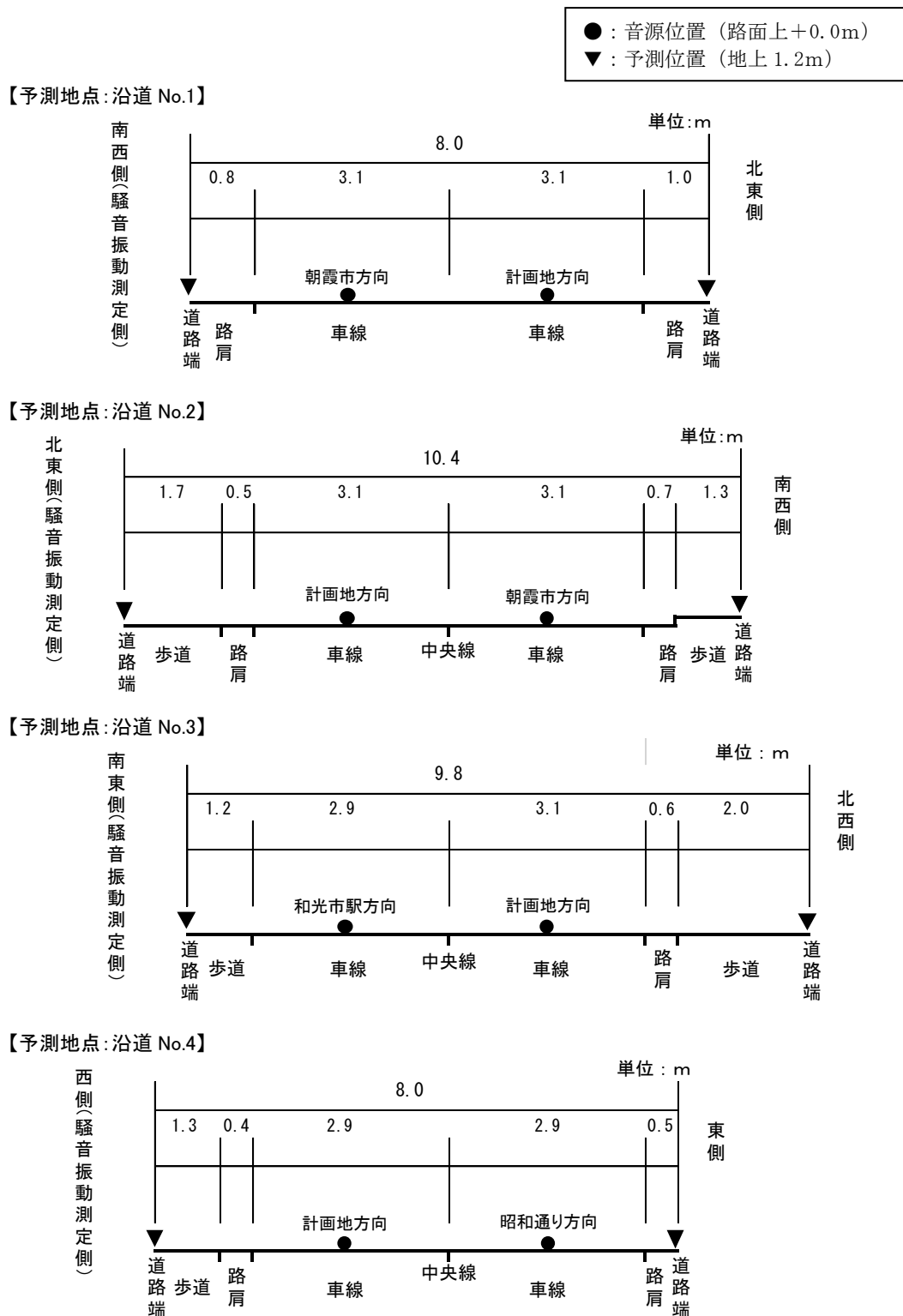


図 3.2-22 道路条件

イ) 予測地点及び音源位置

予測地点位置は道路端の地上 1.2m とした。また、音源位置は各車線中央の道路面+0m とした。

ロ) 走行速度

走行速度は、速度が速いほうが騒音への影響が大きくなるため、車両の平均速度調査結果を設定した。

表 3.2-45 車線数及び走行速度

地点番号	車線数	平均走行速度 (km/h)	規制速度 (km/h)
沿道No. 1	2	42.7	－
沿道No. 2	2	34.3	30
沿道No. 3	2	44.0	30
沿道No. 4	2	30.6	30

備考) 平均走行速度は、交通量現地調査時に実施した測定結果である。

⑤ 予測結果

廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音影響の予測結果は、表 3.2-46 に示すとおりである。

道路端における道路交通騒音レベル (L_{Aeq}) は 63.6～66.9dB であり、廃棄物運搬車両による騒音レベルの増分は 0.1dB～1.7dB である。

表 3.2-46 予測結果（廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音影響）

予測地点	時間区分	方向	騒音レベル L_{Aeq} (dB)		
			現況交通量の 道路交通騒音 (①)	将来交通量の 道路交通騒音 (②)	廃棄物運搬 車両の走行による増分 (③=②-①)
沿道No. 1	昼間	南西側	62.0	63.7	1.7
		北東側	61.9	63.6	1.7
沿道No. 2		北東側	64.4	64.6	0.2
		南西側	64.7	64.8	0.1
沿道No. 3		南東側	66.2	66.4	0.2
		北西側	64.9	65.1	0.2
沿道No. 4		西側	65.7	65.8	0.1
		東側	66.8	66.9	0.1

注) 関係車両は、環境基準による夜間の時間帯（22 時～翌 6 時）には走行しない。

3.2.4 影響の分析

(1) 影響の回避又は低減に係る分析

① 影響の分析方法

影響の回避又は低減に係る分析は、騒音の影響を回避又は低減するため、実行可能な環境保全措置を整理する方法により行った。

② 影響の分析結果

新施設の稼働及びそれに伴う廃棄物運搬車両の走行に係る騒音の影響を回避又は低減するため、本事業で計画している環境保全措置は表 3.2-47 に示すとおりである。

これらの措置を必要に応じて実施することで、施設の稼働及び廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の影響は、実行可能な範囲で回避・低減されるものと評価する。

表 3.2-47 騒音に係る環境保全措置

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 騒音の大きい機器類は、配置を十分検討し、騒音の低減を図る。② 騒音が伝わりにくいように、必要な箇所には防音扉を設ける。③ 騒音の大きい機器類は、性能を満足する範囲で低騒音型を用いる。④ 必要に応じて屋外設置機器に防音対策を施す。⑤ 上記対策を行った上で、さらに騒音の影響を低減する必要がある場合には、遮音壁の設置もしくは同程度の防音対策を講ずる。⑥ 廃棄物運搬車両の運転手に対しては、規制速度での走行やアイドリングストップなど適切な運転指導を徹底する。⑦ 廃棄物の搬出入は、通常のごみ処理受付時間帯に行い、早朝や夜間には行わない。 |
|---|

(2) 生活環境の保全上の目標との整合に係る分析

① 施設の稼働に伴う騒音の影響

ア. 影響の分析方法

影響の分析は、騒音の予測結果が生活環境の保全上の目標と整合しているかという観点から行った。

騒音に係る生活環境の保全上の目標は、新施設の稼働による騒音の影響を適正に管理するため、表 3.2-48 に示す騒音規制法に基づく規制基準のうち、第2種区域に適用される基準値を設定した。

影響の分析の対象とする時間帯は、施設が24時間稼働であるため朝、昼間、夕及び夜間とした。

表 3.2-48 生活環境の保全上の目標（施設の稼働に伴う騒音の影響）

時間区分	目標値	目標の設定にあたり参考にした基準値等
昼間	55dB (50dB)	「騒音規制法」(昭和43年法律第98号)及び「和光市騒音及び振動の規制基準等を定める規則」(平成26年3月31日和光市規則第17号)に基づく基準値 なお、計画地北側の特別養護老人ホームから50mの範囲は5dB減じた値が基準値として適用される（左記の括弧内の値）
朝・夕	50dB (45dB)	
夜間	45dB (40dB)	

注) 時間区分は以下のとおり

朝：6時～8時、昼間：8時～19時、夕：19時～22時、夜間：22時～翌6時

イ. 影響の分析結果

影響の分析結果は、表 3.2-49 に示すとおりである。

予測結果は、計画地西側敷地境界上において最大 41dB、特別養護老人ホームの敷地から 50m 範囲にかかる計画敷地境界上において最大 33dB となり、目標値を超過しないため、生活環境の保全上の目標を満足する。

表 3.2-49 影響の分析結果（施設稼働に伴う騒音の影響）

予測地点	予測結果 (dB)	目標値 (dB)
敷地境界騒音最大地点 (計画地西側敷地境界付近)	41	昼間 : 55 朝・夕 : 50 夜間 : 45
特別養護老人ホーム50m範囲に おける騒音最大地点 (計画地東側敷地境界付近)	33	昼間 : 50 朝・夕 : 45 夜間 : 40

② 施設の稼働に伴う低周波音の影響

ア. 影響の分析方法

影響の分析方法は、低周波音の予測結果が生活環境の保全上の目標と整合しているかという観点から行った。

低周波音に係る生活環境の保全上の目標は、新施設の稼働による低周波音の影響を適正に管理するため、表 3.2-50 に示すとおり「低周波音の測定方法に関するマニュアル」(平成 12 年 10 月、環境庁)に基づく感覚閾値(G 特性音圧レベルで 100dB)を設定した。なお、影響の分析の対象とする時間帯は、施設が 24 時間稼働であるため朝、昼間、夕及び夜間とした。

表 3.2-50 生活環境の保全上の目標（施設の稼働に伴う低周波音の影響）

時間区分	目標値	目標の設定にあたり参考にした基準値等
朝・昼間・夕・夜間	100dB	「低周波音の測定方法に関するマニュアル」(平成12年10月、環境庁)に基づく感覚閾値(G特性音圧レベル)

注) 時間区分は以下のとおり

朝：6 時～8 時、昼間：8 時～19 時、夕：19 時～22 時、夜間：22 時～翌 6 時
なお、低周波音は時間区分が定められていないため、施設稼働に伴う騒音の影響と同様の時間区分とした。

イ. 影響の分析結果

影響の分析結果は、表 3.2-51 に示すとおりである。

予測結果は 70～77dB 以下となり、目標値を超過しないため、生活環境の保全上の目標を満足する。

表 3.2-51 影響の分析結果（施設稼働に伴う低周波音の影響）

予測地点	予測結果 (dB)	目標値 (dB)
敷地境界	72～79以下	100

※) 閾値の出典は「低周波音の測定方法に関するマニュアル」(平成 12 年 10 月、環境庁)による。

③ 廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の影響

ア. 影響の分析方法

影響の分析方法は、騒音の予測結果が生活環境の保全上の目標と整合しているかという観点から行った。

騒音に係る生活環境の保全上の目標は、新施設の廃棄物運搬車両の主要走行ルート沿道への騒音の影響を適正に管理するため、表 3.2-52 に示すとおり環境基本法に基づく「騒音に係る環境基準について」の基準値を設定した。なお、影響の分析の対象とする時間帯は、廃棄物運搬車両の運行帯を含む昼間（6 時～22 時）とした。

表 3.2-52 生活環境の保全上の目標（廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の影響）

地点	時間区分	目標値	目標の設定にあたり参考にした基準値等
沿道No. 1	昼間	65dB	「騒音に係る環境基準について」(平成10年環境庁告示第64号)及び和光市告示第54号(平成24年3月30日)に基づく基準値 なお、沿道No. 2地点は、対象道路の両側で適用される基準値が異なる。道路の北東側はB地域の基準値が、南西側はA地域の基準値がそれぞれ適用される。(左記の括弧内の値はA地域の基準値を示す)
沿道No. 2		65dB (60dB)	
沿道No. 3		70dB	
沿道No. 4		65dB	

注) 時間区分は以下のとおり

昼間：6 時～22 時

イ. 影響の分析結果

影響の分析結果は、表 3.2-53 に示すとおりである。

沿道 No. 1、No. 3 地点及び No. 2 地点の北東側の予測結果は目標値以下であり、生活環境保全上の目標を満足する。これに対して沿道 No. 2 の南西側と沿道 No. 4 地点は目標値を上回っているが、これらの地点は現況でも目標値を上回っており、本事業に伴う増分は 1dB 未満で現況とほぼ同程度であることから、周辺環境へ著しい影響を及ぼすことはないと考ええる。

表 3.2-53 影響の分析結果（廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音の影響）(L_{Aeq})

予測地点	方向	現況交通量の 道路交通騒音 (dB) (①)	将来交通量の 道路交通騒音 (dB) (②)	廃棄物運搬車両の 走行による増分 (dB) (③=②-①)	目標値 (dB)
沿道No. 1	南西側	62	64	2	昼間：65
	北東側	62	64	2	
沿道No. 2	北東側	64	65	1	昼間：65
	南西側	65	65	1未満	昼間：60
沿道No. 3	南東側	66	66	1未満	昼間：70
	北西側	65	65	1未満	
沿道No. 4	西側	66	66	1未満	昼間：65
	東側	67	67	1未満	